

# 地域貢献率の考え方

五都府県、主に東京都の専門研修プログラムは、研修期間の一定期間を地方の県等で研修しており、各県の医療提供体制に貢献している。専攻医の偏在にあたっては、都市部のプログラムに在籍しながら地方県にいる期間を考慮する必要があるため、本指標を用いて、診療科やプログラムごとの地域貢献率を定義し、比較を行う。

<地域貢献率の計算式>

$$A\text{県の専門研修プログラムの地域貢献率} = \frac{\Sigma(\text{各専攻医の5都府県以外の道府県で研修を実施している期間} \times A\text{県登録の専攻医})}{\Sigma(\text{各専攻医専門研修プログラムの総研修期間} \times A\text{県登録の専攻医})}$$

## 専門研修プログラム



\* 例1の地域貢献率は、1年目は50%、2年目は100%、3年目は50%で、プログラムを通じた貢献率は**66.7%**

\* 三師調査が1年目と3年目に行われた場合、例1のプログラムは2回とも東京都でカウントされる。



\* 例2の地域貢献率は1年目は50%、2年目は100%、3年目は0%で、プログラムを通じた貢献率は**50%**

\* 三師調査が1年目と3年目に行われた場合、例2のプログラムは1回目は東京都、2回目は神奈川県でカウントされる。  
(三師調査では、3年目は東京都から地方へ移動したように見える)

## 五都府県の専門研修プログラムの地域貢献率（速報値）

$$\text{地域貢献率} = \frac{\Sigma(\text{各専攻医の5都府県以外の道府県で研修を実施している期間} \times \text{A県登録の専攻医})}{\Sigma(\text{各専攻医専門研修プログラムの総研修期間} \times \text{A県専攻医の専攻医})}$$

東京都の専門研修プログラムの地域貢献率（1年目）	東京都の専門研修プログラムの地域貢献率（2年目）	東京都の専門研修プログラムの地域貢献率（3年目）	東京都の専門研修プログラムの地域貢献率（1-3年目平均）
<b>10.59%</b>	<b>14.44%</b>	<b>11.47%</b>	<b>12.17%</b>
大阪府の専門研修プログラムの地域貢献率（1年目）	大阪府の専門研修プログラムの地域貢献率（2年目）	大阪府の専門研修プログラムの地域貢献率（3年目）	大阪府の専門研修プログラムの地域貢献率（1-3年目平均）
<b>3.90%</b>	<b>8.47%</b>	<b>6.24%</b>	<b>6.20%</b>
愛知県の専門研修プログラムの地域貢献率（1年目）	愛知県の専門研修プログラムの地域貢献率（2年目）	愛知県の専門研修プログラムの地域貢献率（3年目）	愛知県の専門研修プログラムの地域貢献率（1-3年目平均）
<b>3.32%</b>	<b>5.08%</b>	<b>4.74%</b>	<b>4.38%</b>
福岡県の専門研修プログラムの地域貢献率（1年目）	福岡県の専門研修プログラムの地域貢献率（2年目）	福岡県の専門研修プログラムの地域貢献率（3年目）	福岡県の専門研修プログラムの地域貢献率（1-3年目平均）
<b>3.98%</b>	<b>8.48%</b>	<b>6.83%</b>	<b>6.43%</b>
神奈川県専門研修プログラムの地域貢献率（1年目）	神奈川県専門研修プログラムの地域貢献率（2年目）	神奈川県専門研修プログラムの地域貢献率（3年目）	神奈川県専門研修プログラムの地域貢献率（1-3年目平均）
<b>2.78%</b>	<b>3.05%</b>	<b>3.43%</b>	<b>3.09%</b>